



# 平成26年度 三条市体育部 活動報告

部長 星野 孝好

## 1 研究主題

楽しく運動する児童の育成 ～体育学習の充実のための研修会～

## 2 研究の概要

日時	活動の概要	会場・参加者数
6月20日(金)	◎実技講習会 活動名 「親善陸上大会に向けた児童の実技向上のための指導法」 講師 国立長岡工業高等専門学校 江田 茂行 様 概要 ○体の“軸”を意識した走の動きづくり ○陸上競技各種目の指導のポイント ○クラウチングスタートの指導のポイント	会場 大崎小学校 グラウンド 参加者 体育部員 22名 
9月26日(金)	◎実技講習会 活動名 「バスケットボールのゲームの見方」 講師 上越教育大学 教授 土田 了輔 様 概要 ○ボール運動の基本構造 ○バスケットボールのチームごとの「傾向と対策」の具体例	会場 裏館小学校体育館 参加者 体育部員 27名 

## 3 研究の実際

- 陸上の実技講習会では、まず走りの基本は体の「軸」であることを確認した。その後、実技を通して、短距離走の体の軸を意識したフォームやリズム走の仕方を教えていただいた。その中で、子どもにも感覚をつかませるための言葉がけの方法や具体例を指導していただいた。
- ボール運動の実技講習では、ボール運動の基本構造は「直進と迂回」であるという理論と、チームの「傾向」とを捉え「対策」をチーム内の言語活動で考えていくという授業づくりを教えていただいた。その上で、バスケットボールを実際にやりながら、「傾向と対策」の具体例を学んだ。

## 4 成果と課題

- 短距離走の体の軸を意識したフォームやリズム走の基礎を知ることができた。その基礎を土台に、実技を通して、練習方法や、技術向上のポイントが子どもにも明確に伝わる指導法を学ぶことができ、親善陸上大会での実際の指導に役立てることができた。
- ボール運動は「直進と迂回」から成り立つという理論をもとに、ボール運動の根本を考えるよい機会となった。バスケットボールの実技では、試合を通して相手の「傾向」をつかみ、その「対策」を考えさせることで、思考と技能を向上させる指導法の有効性を実感することができた。